

The Dream-Climbing of Unknown Mountain

未知なる山嶺を夢に求めて

プリ・プレイ

事前開示情報

●イントロダクション

南極大陸に発見された、新たな世界最高峰……
“狂気山脈”。

神秘と狂気のヴェールに包まれたその頂に、人類最初の到達者として伝説的な足跡を刻んだ登山者たち。
“彼ら”を、再び呼び寄せる山があった。

無名峰。目視による推定標高は、なんと 16,000 m を超える。この地球上のどこにも存在しない、しないはずの未知なる霊峰。

現のものとは到底思えぬ、夢幻の中に描かれたような峻厳な頂に、はたして、登山者たちは挑む。

神々の座を征服した探索者たちに、与えられるのは栄誉か、それとも。

●基本情報

プレイヤー人数：3人固定

想定プレイ時間：5～6時間程度

使用するサプリメント：基本ルールブックのみ

●シナリオ・コンセプト

本シナリオは、『狂気山脈 ～邪神の山嶺～』の続編である。参加できる探索者は基本的に、前作にて狂気山脈に登頂し、生還した者たちである。

一部例外はある。前作に参加し、生還できなかった探索者も、条件次第で参加可能だ。詳しくは、KPから説明があるだろう

なお、上記の条件を満たしてさえいれば、「別々の卓」つまりは一緒に狂気山脈に登った仲ではない探索者どうしでも、同時にこのシナリオに参加することができる。別のKPによるセッションであっても問題ない。

もしかすると、別卓の参加者を集めて遊んだほうが、このシナリオは面白いかも知れない。

●そもそも、参加するか否か

本シナリオは極めて特殊なシチュエーションであり、難易度も非常に高い。探索者をロストする可能性も十分にある。さらにシナリオの結果次第では、前作のセッションの結果を台無しにしてしまうことになりかねない危険を孕んでいる。

前作のセッション結果に思い入れが深く、蛇足を望まない場合、本シナリオを遊ばないという選択も検討してほしい。

●ハンドアウト

本シナリオで探索者たちに配られるハンドアウトは、全員共通で以下のものである。



ハンドアウト：真の登頂者

かつて、かの狂気山脈の暴虐な頂に挑み、打ち勝った鮮烈な記憶は、その後の君の人生にある種の空虚をもたらし。登山家として新たな目標を見いだせぬまま漠然と山に向かう日々を送っていたある日。ふと気付くと、君は見知らぬ荒野に立っていた。周りにいたのは、君と同じく登山装備を身にまとった数人の登山家たち。彼らは口をそろえてこう言った。
「自分こそが狂気山脈の人類初登頂者だ」と。